

『新ひだか町体育協会誕生10周年記念事業』

第32回 全日本壮年ソフトボール大会北海道予選会 兼

第17回 全日本スポーツマスターズソフトボール大会北海道予選会

開 催 要 項

1. 主 催 北海道ソフトボール協会
2. 主 管 日高管内ソフトボール協会、新ひだか町ソフトボール協会
3. 後 援 新ひだか町、新ひだか町教育委員会、新ひだか体育協会
4. 会 期 平成29年6月24日(土)～6月25日(日)【予備日：6月26日(月)】
5. 会 場 新ひだか町真歌42-5 静内川左岸緑地公園ソフトボール球場
6. 参加チーム数 参加チームの制限は設けない。
但し、8. 参加資格、9. 出場資格を満たしたチームに限る。
7. 参加資格 (1) 平成29年度北海道ソフトボール協会に各地区を通して加盟登録したチームであること。男子は壮年チーム、女子は35歳以上の者で構成されているチームであること。
(2) 所属長が身体、人物共に適当と認めたもの。
(3) 本北海道予選会において優勝または準優勝した場合は、理由の如何を問わず第32回 全日本壮年ソフトボール大会か第17回 全日本スポーツマスターズソフトボール大会に北海道代表として参加でき得るチームであること。
優勝チームに選択権を与える。
8. 出場資格 (1) 本大会に出場するチームおよび選手は、所定の予選または、推薦を経て出場権を得たチームおよび選手に限る。
(2) 選手の構成は、最終予選終了時までには北海道ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。なお、本大会参加申込み以降の変更は認めない。
(3) チームの編成は、次の通りとする。
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内。
ただし、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。
※ 通訳者1名(外国選手がいる場合に限る)のベンチ入りは認める。
※ スコアラーとしてベンチに入る場合は、公式記録員の有資格者であること。
※ 監督、コーチの中で次の①～③のいずれかの資格を有する者がいること。
監督、コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得るもの)がいなければならない。
① 公認ソフトボールコーチ・ソフトボール上級コーチ
② 公認ソフトボール指導者・上級指導者
③ 公認準指導者
※ 有資格者については、監督会議、受付等で資格証等の提示を求められたときは、すぐに提示できるよう、資格証を携帯すること。

9. 申込み方法 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記のうえ、各関係の認印を受け6月3日(土)までに到着するよう、参加料、保険料を添えて下記宛に申し込むこと。

(1) 〒 0062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1

北海道総合体育センター内 北海道ソフトボール協会 宛
参加申込書のコピー1通

TEL 011-820-1675 FAX 011-820-1676

(2) 〒 056-0022 日高郡新ひだか町静内高砂3丁目13-18

大会事務局 新ひだか町ソフトボール協会
渡部伸一 宛

TEL&FAX 0146-42-5267

《参加申込書原本、プログラム掲載用選手名簿》

参加料・保険料は現金書留にて上記(2)宛に郵送願います。

10. 参加料 1チーム 25,000円
11. 保険料 参加申込書に記載の人数に@60円を乗じた金額。(監督等も含めた全員です)
12. 競技規則 2017年度オフィシャルソフトボールルールによる。
13. 試合球 公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号球白色(ナガセケンコー株)とし、毎試合ごと、各チーム、1個の持ち寄りとする。
14. 試合方法 トーナメント方式による。
1回戦~準決勝は90分を過ぎても新しいイニングに入らない。
制限時間経過後同点の場合は、次のイニングよりタイブレーカーにより試合を続行する。但し、タイブレーカーは2イニングまでとし、なお、同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。得点差コールドゲームは採用しない。
決勝戦は、時間制限を設けず、3回15点、4回10点、5回以降7点差以上の差がついた場合はコールドゲームとする。
15. 表彰 (1) 優勝チームに、表彰状、優勝旗または優勝杯を授与する。
(2) 準優勝、3位チームに表彰状を授与する。
(3) 優勝旗または優勝杯は持ち回りとする。
16. 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
17. 組合せ抽選 試合の組み合わせは、6月6日(火)道協会において、主催者立会いのもとに公開代理抽選によって決定する。
18. 監督会議 6月24日(土)8時20分より、静内川左岸ソフトボール球場において開催する。
19. 審判記録会議 6月24日(土)8時40分より、静内川左岸ソフトボール球場において開催する。
20. 開会式 6月24日(土)9時00分より、静内川左岸ソフトボール球場において開催する。
21. 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、救急の処置をおこなうとともに北海道ソフトボール協会が加盟する行事参加者傷害保険(死亡・後遺障害450万円、入院日額4,000円、通院日額2,500円)の範囲内で補償を行う。日数制限有。保険料については参加者負担とし、別途徴収する。
加入者は、全員健康保険証を持参すること。
22. その他 (1) 出場チームは必ず監督(引率責任者がいる場合は引率責任者)によって引率され、監督(引率責任者)は、選手の全ての行動に対して責任を負うものと

する。

- (2) 開会式は監督、コーチ、プレイヤー全員が参加すること。9名以上（試合が成立する人数）の参加ができないチームは、原則として棄権とみなす。
- (3) 北海道大会で棄権および不正選手出場したチームの取扱については下記の通りとする。
 - ① 棄権チームに対する処置：当該年度及び次年度の公式試合の出場停止。
 - ② 棄権チームの所属する支部に対する処置：次年度の同大会の出場資格の喪失。
 - * 組合せ抽選終了後の出場辞退（チームの変更も含む）も大会期間中の棄権とみなし上記同様の処置とする。尚、事故等による理由により棄権する場合は上記規定を適用しない。また、この決定については、北海道派遣理事および大会協議委員長で行う。
 - * 全日本大会、東日本大会、北海道、東北大会の権利取得後の出場辞退についても、同様の扱いとする。
- (4) 雷鳴が、かすかでも聞こえたら、直ちに試合を中断する。
- (5) 昼食（弁当）については別紙により斡旋しますが、宿泊については斡旋しません。
- (6) チームの宿泊先およびその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡すること。
- (7) ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
- (8) その他、詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。
- (9) 大会参加申込書は、明確にご記入ください。

全国大会日程

第32回 壮年大会	9月2日～4日	静岡県袋井市・掛川市
第17回 スポーツマスターズ	9月16日～19日	兵庫県淡路市